救急車を呼ぶときの
３つの約束

１１９番通報をした瞬間から、あなたと指令員と救急隊員はひとつのチームになります。チームのために次の３つの約束を守ってください。

１、まず、あなたは「答える役」です

指令員は「何をどう聞くか」で助けを最短で届けます。
指令員が「火事ですか？救急ですか？」「住所はどこですか？」と順に聞きますので落ち着いて答えてください。話すより質問に答えることが早い助けに繋がります。
※住所が確定すれば、救急車は出動しますので、その後も落ち着いて質問に答え続けてください。

２、「切っていいよ」と言うまで、電話は命綱

救急車が到着するまで電話は命のラインです。途中で切ってしまうと、正確な場所や状況がわからなくなります。指令員の声が聞こえる間は命が繋がっています。

３、スピーカーであなたの手が命をつなぐ

応急手当が必要なとき、両手を自由に使うために電話をスピーカーモードに。指令員が手順を伝えながら、あなたの手で命を守るサポートをします。固定電話やスマートフォンをスピーカーモードにできるようにしておきましょう。

【お問合先】

１１９番のかけ方、通報について：北大阪消防指令センター　06-6155-5119
救急車、応急手当の方法について：豊中市消防局 救急救命課　06-6846-8438

回覧										